

趣 旨 書

役職名	ふりがな	はせがわ だいご	
理事	立候補者	長谷川 大悟	
代表推薦者		他の推薦者	

【略歴】茨城県理学療法士会広報局会報編集部員、普及啓発局調査・情報部長、代議員、日本理学療法学会研修大会広報部長、関東甲信越ブロック理学療法士学会広報局長 ほか

【本文】地域共生社会の名の基に、全世代型社会保障への取組みが推進され、理学療法士(以下、PT)の活躍の場は多岐に広がっています。一方、年間1万人以上のPTが誕生し、その希少性は失われ、職域の維持・拡大、質の担保あるいはPTの処遇等には多くの課題があり、茨城県理学療法士会(以下、士会)においては、内外からの社会的課題に対し、期待に応える事が求められています。士会運営においては、若い世代が参画しやすい環境作りに努め、多様な意見を反映させ、先人が築き上げてきた土台を基に、公益に資する身近で、魅力ある士会を目指します。その上で、職能としての価値をさらに高め、社会保障の充実・発展につながる多くの挑戦を展開するためその一翼を担いたく、立候補します。

役職名	ふりがな	なおい ひろあき	
理事	立候補者	直井 洋明	
代表推薦者		他の推薦者	

私はこれまで、理事・渉外部長として4期8年、理事・社会職能局長として2期4年、茨城県理学療法士会の活動を行ってきました。県内の保健・医療・福祉に関する団体や茨城県をはじめ市町村から、ある程度評価される団体になったと自負しております。地域で活躍している若い世代も多くなってきました。今後は、そのような世代へ積極的に仕事のパートナータッチ行い、さらなる社会への貢献に寄与していきたいと思えます。引き続き理事として活動させていただき、次の世代へとつなげる役割を果たしたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

役職名	ふりがな	ひらた せいじ	
理事	立候補者	平田 清次	
代表推薦者		他の推薦者	

この度、公益社団法人茨城県理学療法士会理事に立候補させていただきました平田清次です。平成19年度より地域医療福祉局(現、社会・職能局)、平成23年度より事務局で活動させていただいております。勤務先は急性期が中心の病院であり、茨城県管理者ネットワークでは副幹事長・急性期代表幹事を務めさせていただいております。縦のつながりだけでなく、横のつながりも重要と考えており、県内の連携強化に協力できればと思っております。現在、事務局次長・公益法人担当という立場で士会運営に携わっている経験を活かし、今後更に士会活動、特に事務局機能強化に協力できればと考えております。何卒、よろしくお願ひ致します。

役職名	ふりがな	かわさき ひとし	
理事	立候補者	川崎 仁史	
代表推薦者		他の推薦者	

志村大宮病院(茨城北西総合リハビリテーションセンター)の川崎と申します。私は、平成27年度から4年間(2期)に渡って士会の常任理事を務めさせていただき、士会事務局の財務担当としての立場からも士会内部の運営を経験させていただきました。士会としては、協会と足並みを揃えてブロックあるいは市町村レベルでの活動を推進しており、様々な問題が生じてきている(あるいはこれから生じてくる)と思えます。また、今年度には国体および障害者スポーツ大会が本県で開催されます。さらに、養成校指定規則の改正に伴う臨床実習の在り方の変化、筑西地域自立支援センターの開設等、様々なことが変わっていくこととなります。公益社団法人としては本会はまだ若く、その運営体制についても変えていかなければなりません。

これまで士会内部で活動させていただいた経験を活かし、引き続き本会の地盤固めおよび発展に寄与できればと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

役職名	ふりがな	あさかわ やすつぐ
理事	立候補者	浅川 育世
代表推薦者		他の推薦者

再来年には本会も設立 50 周年を迎えることとなります。昭和から平成はまさに我が国の理学療法が目覚ましい発展を遂げた時代です。本会も同様に力を付けてきました。一方で令和に向けては理学療法士の需要・供給バランスが逆転するとも言われる厳しい時代の幕開けとなります。私はこれからこの業界を支えていく人材に安心して働ける環境づくりを提供したいと考えます。そのために、学術活動の強化（EBPT の確立）、更なる社会的信用の確立（地域包括ケアシステム・地域共生社会での理学療法士の活躍および認知度の向上）を目指していきたいと考えます。昨年 6 月に本会会長に就任して以来、様々な職能団体・公的機関の要の方々との人脈を形成することができました。皆さまより理学療法士への期待を耳にします。これらの期待にお応えするためにも責任のある法人でありたいと願っております。どうぞ一緒に力を合わせ本会を一層発展させていきましょう。

役職名	ふりがな	くにや しんいち
理事	立候補者	國谷 伸一
代表推薦者		他の推薦者

この度、理事に立候補しました立川記念病院の國谷伸一と申します。平成 27 年度に始めて理事に立候補しまして、常任理事を仰せつかり 4 年間執行部の一員として活動をしてきました。また、学術・教育局長として主に理学療法における学術及び科学技術に関する振興を目的とする事業に携わって参りました。今回は 3 回目の理事への立候補となります。現在、医療従事者の需給に関する検討会で理学療法士の需給推計を踏まえた今後の方向性について議論されています。以前から比較すると理学療法士の資格名が市民に知られるようになり、また理学療法士が活躍できる分野が拡大しています。これからは社会における身分の向上やさらなる職域の拡大が望まれます。私は、今後理学療法士が医療機関や介護老人保健施設の業務に留まることなく、様々なフィールドで活躍できる会員の支援ができればと考えております。皆様方のご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

役職名	ふりがな	あくつ まさき
理事	立候補者	坏 真毅
代表推薦者		他の推薦者

私は、社会福祉法人縦山会の副理事長及び特別養護老人ホーム縦の木荘の施設長として地域の医療と介護の連携に携わっています。また、特別養護老人ホームなどの介護施設を主な会員とする茨城県老人福祉施設協議会の理事として介護施設の在り方を検討してより良い介護施設の運営に向けて努めています。茨城県理学療法士会において理事をさせて頂いている際には、茨城県老人福祉施設協議会との連携の担い手として、各会の会長と今後の連携について協議する場を設け、各会の役員に会議等にご参加いただき、これからの連携を図るための意思統一に努めました。具体的な事業への発展のために、今後とも引き続き尽力して参りますので、立候補させて頂きました。ご審議のほど、どうかよろしくお願い致します。

役職名	ふりがな	もりた ひでたか
理事	立候補者	森田 英隆
代表推薦者		他の推薦者

この度、理事に立候補させて頂きました、いちほら病院の森田英隆と申します。茨城県理学療法士会の活動としては、平成 23～26 年度まで、会報編集部長として「インフォメーション」「年報ひたちの」「40 周年記念誌」の発行に携わり、平成 27～30 年度は理事として多くを学ばせて頂きました。その間、普及啓発局長としてホームページの作成や広報、啓発、調査を致しました。公益法人として県民の健康と福祉に貢献し、茨城型地域包括ケアシステムの構築に寄与するとともに、茨城国体への協力や士会創立 50 周年事業などを皆様と共に作り、会員の皆様にとって有益な士会活動を推進するため微力ながら尽力させていただく所存です。会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

役職名	ふりがな	さくらい てつや
理事	立候補者	桜井 哲也
代表推薦者		他の推薦者

私は、茨城県理学療法士会理事として2期4年間活動してまいりました。この間に第21回茨城県理学療法士学会学会長も務めさせていただきましたが、身近な学会をもっと盛り上げ、活性化していきたいと思ったところであります。

また我々を取り巻く環境は、少子高齢化、社会保障費削減のあおりを受け、ますます厳しい状況にあります。そのような中で茨城県士会は、他の士会に率先し様々な事業を展開して打開を図ろうとしています。生涯教育、地域包括ケアシステム、多職種連携、介護予防等、キーワードは種々ございますが、士会員の皆様、特に若い世代の方々が、やりがいと生きがいを持って働いて行ける環境を作るべく、いま少し働かせていただけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

役職名	ふりがな	たきはら じゅん
理事	立候補者	瀧原 純
代表推薦者		他の推薦者

昨今、理学療法士の職域が拡大し様々な分野で活動しています。その中で、他職種との連携を図りながら専門性を活かせる領域を確保し、理学療法士の社会的地位の向上を図ることも重要と感じます。こうした点で、日本理学療法士協会の運営や動向に目を向けていくことはどの世代にも必要なことであり、協会の活動を現場に繋げていくうえで、各都道府県士会（茨城理学療法士会）が大切になります。また、私個人としては、これまで臨床現場において運動器や代謝疾患の方を中心に携わり、今後はこれらの予防活動がますます重要になると感じております。士会として茨城県内の各ブロックと連携した上でこうした活動を推進していきたい所存であります。今回、茨城理学療法士会と臨床現場とのパイプ役として尽力したいと思い、茨城県理学療法士会の役員への立候補を決意しました。

役職名	ふりがな	おおぞね けんいち
理事	立候補者	大曾根 賢一
代表推薦者		他の推薦者

茨城県理学療法士会では理学療法士が活躍できる社会づくり地域づくりのため、様々な場面で活動してまいりました。また、作業療法士会、言語聴覚士会とともにリハビリテーション専門職として地域における活動の場を広げてきました。これからますます広がるであろう理学療法士に対するニーズに応えていくため、茨城県理学療法士会を強固なものにしていく必要があると思います。

そこで、微力ではありますが茨城県理学療法士会理事に立候補させていただき、会員の皆様とともに茨城県における理学療法士を盛り上げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

役職名	ふりがな	かねこ さとる
理事	立候補者	金子 哲
代表推薦者		他の推薦者

水戸赤十字病院の金子哲です。よろしくお願い致します。

今期は副会長・事務局長として、本会事務所を第53回日本理学療法学会学術研修大会の運営委託会社として位置づけその統括管理を行ってまいりました。また協会より士会事務局強化モデル事業を受託し、北茨城市に次ぐ2か所目の地域自立支援センターを筑西市に設置、無料職業紹介事業や障害者相談支援事業開設に向けた礎を築いてまいりました。

私が立候補しました2019年度・2020年度には、2019年度に第74回国民体育大会・第19回全国障害者スポーツ大会が、2020年度に関東甲信越ブロック理学療法士学会、茨城県理学療法士会設立50周年記念事業などの大きなイベントが予定されております。また、臨床実習指導者講習会や新生涯学習システム導入など、理学療法（士）教育に関しても変革の時期となってまいります。

私は今年で理学療法士歴29年目となり、陸上トラックでは丁度第4コーナーを回った辺りとなります。その為、2019年度・2020年度は士会事業を大所高所より判断・指示出しし、次の世代に上手にバトンを渡せるような舵取りをしていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

役職名	ふりがな	しもこうのき かえ	
理事	立候補者	下神納木 加枝	
代表推薦者		他の推薦者	
<p>これまでも理学療法士は医療に携わる専門職として社会に貢献してきました。そして時代の変化は目まぐるしく、どんな分野もその時代に求められることに対応し、未来を見据えた環境づくりが必要になりました。</p> <p>私は臨床経験を生かし動物病院で動物に理学療法に携わっています。WCPTのサブグループにも含まれている分野です。このように理学療法士が活躍できる分野は未開拓なところにもまだまだたくさんあります。</p> <p>理学療法士の歴史、功績を大事にし、これまで茨城理学療法士会が取り組んできたことや今ある課題に対しては士会の皆様にご指導いただきながらお役に立てるよう真摯に向き合っていきます。</p> <p>さらには、新しい分野への挑戦、そして個性溢れる理学療法士が増え、その個性を生かせる環境、組織づくりができるよう士会の発展のため精進してまいります。</p> <p>若輩者ではございますがどうぞ皆様よろしくお願い致します。</p>			

役職名	ふりがな	すずき かずえ	
理事	立候補者	鈴木 和江	
代表推薦者		他の推薦者	
<p>この度、茨城県理学療法士会理事に立候補させて頂きました鈴木和江です。</p> <p>平成24年から県士会で設立した北茨城地域自立支援センターの職員として勤務しております。平成28年度からは、北茨城市からの委託により在宅リハビリテーション事業を行って参りました。さらに、茨城型地域包括ケアシステム推進の拠点である北茨城市コミュニティケア総合センターに拠点を移し、地域リハビリテーションを実践しております。この活動を通して、シルバーリハビリ体操指導士会で実施している体操教室や公民館の教室等で住民の方々、保健・医療・介護・福祉にかかわる専門職の方々のよりリハビリテーションの身近な相談支援の窓口として市内ではだいたい浸透し、様々な方々の支援を他職種とも協働できるようになってきました。今後、地域での理学療法士、リハビリテーション専門職への期待はますます高まると思います。切れ目のない支援ができるように、皆様と共に考え・行動していきたいと思っております。会員皆様のご支援を賜りたく宜しくお願い致します。</p>			

役職名	ふりがな	たかはし ちあき	
理事	立候補者	高橋 千晶	
代表推薦者		他の推薦者	
<p>前期に引き続き、本会理事に立候補をさせて頂きたくことになりました。</p> <p>これまでの経験を活かし、理学療法士としてのスキルアップや地域との関わりがより円滑に進められるよう、貢献したいと思っております。</p> <p>また、理学療法士は全国で他職種（業種）と比較して女性が結婚後も退職せずに継続する割合が高いという面があります。女性の立場・目線で本会の運営に携わっていきたくと考えます。</p> <p>どうぞ宜しくお願い致します。</p>			

役職名	ふりがな	あらい ひでゆき	
監事	立候補者	荒井 秀行	
代表推薦者		他の推薦者	
<p>この度、茨城県理学療法士会理事に立候補させて頂きました荒井秀行と申します。</p> <p>現在、古河坂東ブロック代表として活動し、主にブロック事業と生涯学習事業に関わらせていただき、日々多くの事を学ばせて頂いております。協会は組織として品質管理ができる体制、士会組織強化に向けたシステム作り（顔の見える関係、管理者ネットワークの構築）を進めています。県士会はブロックを市町村と県士会との間の調整役として位置づけておりますが、ブロック活動に対して施設間で偏りが見られるなど課題が多い状況です。県士会の運営は会員ファースト、会員、ブロックあつての組織であると思うので、微力ではありますが士会組織強化に向けたシステム作りやブロック運営の推進、支援（業務負担の軽減が出来るような仕組みの工夫、予算化）など、会員とブロック、県士会とのネットワークの調整に尽力したいと思ひ、立候補させて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。</p>			

役職名	ふりがな	ひろしま としひで	
理事	立候補者	廣嶋 俊秀	
代表推薦者		他の推薦者	

2年間という短い期間ですが、理事として県士会活動に携わらせて頂くことができ、貴重な経験をさせて頂けたと思っています。県士会のブロック調整担当や専門職協会の市町村担当の活動をしている中で、地区ブロックの重要性を実感しました。

市町村における地域包括ケアシステム構築が進む中、理学療法士の地域における役割が広がり、地区ブロック内での協力・連携が今まで以上に必要となると思います。

今後も、県士会と地区ブロックの繋がりのために協力していきたいと思い、立候補致しました。

宜しくお願ひ致します。

役職名	ふりがな	まつだ ともゆき	
理事	立候補者	松田 智行	
代表推薦者		他の推薦者	

茨城県立医療大学の松田智行です。私はこれまで、回復期リハビリテーションや訪問リハビリテーション、厚生行政、日本理学療法士協会を経て、現在は茨城県立医療大学で教員として、また付属病院において科長として日々奮闘中です。このような幅広い経験をしてこられたのは、理学療法士の未来のためにご尽力されてきた先輩方のおかげでもあります。これからは、私たちが茨城県の理学療法士・リハビリテーションの発展のために、皆さまとともにけん引していかなければなりません。

地域包括ケアシステムの強化が求められている中、茨城県はまだ、医療やリハビリテーションを受けるにあたり地域格差が生じています。これまで県士会が取り組んできた事業や地域活動を継承しつつ、関係団体や多職種とも連携しながら、この地域格差の解消に努めます。また、障害のある方や高齢者の自立支援にむけて取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

役職名	ふりがな	からさわ みきお	
理事	立候補者	唐澤 幹男	
代表推薦者		他の推薦者	

現在、自費コンディショニング、インソール、脳卒中コンディショニング、セミナー事業、コンサルティング、イベント事業を行っております。病院の外に出て、理学療法士の世界が全く違って見えることがたくさんあります。それは良いことも悪いこともはっきり見えます。外側からの意見を、そして少し違った視点からの意識を茨城の理学療法へ吹き込みたい、理学療法にできることを広めて行きたい、そんな思いをととても強く持っています。また自費コンディショニングをもっと普及し、困っている方を救うために様々な活動を行いたいと考えています。

役職名	ふりがな	あさの しんいち	
監事	立候補者	浅野 信一	
代表推薦者		他の推薦者	

職能団体とは「法律や医療などの専門的資格を持つ専門職従事者らが、自己の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための組織である。同時に、研究発表会、講演会、親睦会の開催や、会報、広報誌などの発行を通して、会員同士の交流などの役目も果たす機関でもある」とウェブサイトにあります。

ただ前提として私たち理学療法士協会・士会の最優先目的には、患者様、利用者様をはじめとした対象者の利益を最大限にするためという事が掲げられると考えます。

ここに上げるのは適切ではないかもしれませんが、「道徳なき経済は罪悪であり経済なき道徳は寝言である」という二宮尊徳の語ったとされる言葉も職能団体の在り方を一部表しているのではないのでしょうか。

私は監事として、茨城県理学療法士会が、職能団体として対象者そして会員の皆様にとって適切なものとなっているか監督させて頂こうと考えています。

(受付順)

